



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社  
コード番号 6848 URL <https://www.toadkk.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 俊夫  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営戦略部長 (氏名) 安孫子 正美  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
TEL 03-3202-0211

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,666	7.2	545	51.4	570	53.2	391	25.9
2023年3月期第2四半期	7,154	3.8	360	43.8	372	44.7	311	33.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 478百万円 (293.7%) 2023年3月期第2四半期 121百万円 ( 80.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	19.89	
2023年3月期第2四半期	15.70	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,520	20,242	76.3
2023年3月期	26,717	20,085	75.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 20,242百万円 2023年3月期 20,085百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				18.00	18.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	7.0	1,700	3.1	1,780	2.7	1,300	6.7	65.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	19,880,620 株	2023年3月期	19,880,620 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	143,488 株	2023年3月期	181,906 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	19,709,690 株	2023年3月期2Q	19,832,514 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～9月30日）におけるわが国の経済は、企業の設備投資や個人消費の持ち直しがみられたものの、世界的な金融引締めに伴う海外景気の下振れ、円安進行や物価上昇等により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは中期経営計画の2年目を迎え、製品開発を含む市場別重点施策を進めるとともに、経営基盤の整備に向けた積極的な投資を着実に実行しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、国内では、半導体関連を中心とした旺盛な設備投資需要の獲得等に注力しました。海外では、主要市場である中国・韓国・台湾での拡販に加え、東南アジアでのハック社との連携による販売強化、国家認証取得の加速化等に継続的に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、部材調達難は一部継続しているものの生産活動の回復が進んだことで、売上高は7,666百万円（前年同期比7.2%増）となりました。利益につきましては、増収に加え、販売価格の一部改定や製造原価低減の取り組みにより売上原価率が改善したことで、営業利益は545百万円（前年同期比51.4%増）、経常利益は570百万円（前年同期比53.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は391百万円（前年同期比25.9%増）となりました。

分野別売上高の状況は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

区 分	前第2四半期連結累計期間 （第79期） 2022年4月1日から 2022年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 （第80期） 2023年4月1日から 2023年9月30日まで		前年 同期比 （%）	
	売上高	構成比 （%）	売上高	構成比 （%）		
計測 機器 事業	環境・プロセス分析機器	2,222	31.1	2,459	32.1	10.7
	科学分析機器	465	6.5	541	7.1	16.2
	医療関連機器	443	6.2	331	4.3	△25.3
	産業用ガス検知警報器	168	2.4	199	2.6	18.7
	電極・標準液	1,264	17.7	1,347	17.6	6.6
	保守・修理	1,126	15.7	1,216	15.9	8.0
	部品・その他	1,341	18.8	1,448	18.9	7.9
	合 計	7,032	98.3	7,544	98.4	7.3
不動産賃貸事業	121	1.7	121	1.6	0.1	
合 計	7,154	100.0	7,666	100.0	7.2	

（注）金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### <計測機器事業>

当事業の売上高は7,544百万円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は956百万円（前年同期比28.1%増）となりました。

##### 環境・プロセス分析機器

この分野は、基本プロセス計測器、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計等であります。

国内においては、受注残の解消に加え、半導体関連の旺盛な設備投資需要や浄水場等公共インフラの活発な更新需要を取り込んだことで大幅増収となりました。一方海外では、特に注力している東南アジアでの販売が好調に推移したものの、中国において経済の回復に遅れが見られ、環境水質計案件が大幅に減少したことから減収となりました。これらの結果、当分野の売上高は前年同期比10.7%の増加となりました。

##### 科学分析機器

この分野は、ラボ用分析機器、ポータブル分析計であります。

受注残解消と堅調な販売により、当分野の売上高は前年同期比16.2%の増加となりました。

##### 医療関連機器

この分野は、粉末型透析用剤溶解装置等であります。

コロナ禍からの回復需要が一巡し、当分野の売上高は前年同期比25.3%の減少となりました。

##### 産業用ガス検知警報器

この分野は、バイオニクス機器株式会社が製造・販売する産業用ガス検知警報器であります。

国内での販売が増加し、当分野の売上高は前年同期比18.7%の増加となりました。

##### 電極・標準液、保守・修理、部品・その他

この分野は、前記環境・プロセス分析機器、科学分析機器、医療関連機器の分野における全製品群の補用品類、現地調整・定期点検及び修理、補用パーツ等に該当するものであります。

これらアフタービジネス分野につきましては、設備稼働維持のための保守点検が計画通り実施され、また価格改定の浸透が進んだことにより、売上高は前年同期比7.5%の増加となりました。

#### <不動産賃貸事業>

東京都新宿区の本社に隣接の賃貸ビル1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。当事業の売上高は121百万円、セグメント利益は67百万円となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ197百万円減少の26,520百万円となりました。これは、建設仮勘定が1,105百万円、棚卸資産が774百万円それぞれ増加し、現金及び預金が1,216百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が791百万円、電子記録債権が222百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ353百万円減少の6,278百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が194百万円、未払法人税等が137百万円それぞれ減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ156百万円増加の20,242百万円となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期業績見通しにつきましては、一部の部材を除き調達難の改善により、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2023年4月28日に公表した業績予想に変更はありません。

なお、業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,802	5,585
受取手形、売掛金及び契約資産	5,100	4,309
電子記録債権	2,059	1,836
商品及び製品	1,457	1,657
原材料	1,499	1,718
仕掛品	1,626	1,981
その他	266	321
流動資産合計	18,813	17,410
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,171	2,143
機械装置及び運搬具（純額）	73	61
工具、器具及び備品（純額）	250	275
土地	1,798	1,798
リース資産（純額）	111	108
建設仮勘定	168	1,274
有形固定資産合計	4,574	5,662
無形固定資産		
ソフトウェア	211	205
ソフトウェア仮勘定	-	48
その他	18	15
無形固定資産合計	229	269
投資その他の資産		
投資有価証券	2,393	2,478
退職給付に係る資産	37	34
繰延税金資産	328	324
その他	340	340
投資その他の資産合計	3,100	3,177
固定資産合計	7,904	9,109
資産合計	26,717	26,520

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,357	1,162
電子記録債務	603	568
短期借入金	258	240
リース債務	50	49
未払金	257	196
未払法人税等	331	194
未払消費税等	24	33
賞与引当金	328	400
役員賞与引当金	38	-
製品点検費用引当金	80	80
その他	237	323
流動負債合計	3,568	3,250
固定負債		
長期借入金	33	15
リース債務	82	78
長期未払金	66	121
長期預り保証金	365	365
役員退職慰労引当金	53	-
退職給付に係る負債	2,337	2,320
資産除去債務	124	125
固定負債合計	3,063	3,027
負債合計	6,631	6,278
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,842	1,842
資本剰余金	1,297	1,305
利益剰余金	15,829	15,866
自己株式	△116	△91
株主資本合計	18,853	18,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,321	1,397
退職給付に係る調整累計額	△89	△78
その他の包括利益累計額合計	1,232	1,319
純資産合計	20,085	20,242
負債純資産合計	26,717	26,520

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,154	7,666
売上原価	4,663	4,899
売上総利益	2,490	2,767
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	958	1,002
賞与引当金繰入額	164	185
退職給付費用	67	71
役員退職慰労引当金繰入額	2	1
貸倒引当金繰入額	0	-
減価償却費	44	46
研究開発費	226	196
その他	667	717
販売費及び一般管理費合計	2,130	2,221
営業利益	360	545
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	24	28
持分法による投資利益	3	2
その他	15	14
営業外収益合計	43	45
営業外費用		
支払利息	3	3
債権売却損	0	0
為替差損	28	17
その他	0	0
営業外費用合計	31	20
経常利益	372	570
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	63	-
特別利益合計	63	0
特別損失		
固定資産除却損	0	10
リース解約損	0	-
特別損失合計	0	10
税金等調整前四半期純利益	435	561
法人税等	124	169
四半期純利益	311	391
親会社株主に帰属する四半期純利益	311	391



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	311	391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	75
退職給付に係る調整額	8	10
その他の包括利益合計	△189	86
四半期包括利益	121	478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121	478

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,032	121	7,154	7,154
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	7,032	121	7,154	7,154
セグメント利益	746	72	818	818

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,544	121	7,666	7,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	7,544	121	7,666	7,666
セグメント利益	956	67	1,023	1,023

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	818	1,023
全社費用(注)	△458	△478
四半期連結損益計算書の営業利益	360	545

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。